

◆資産関係

① ポートフォリオの推移(一般勘定)

a. 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	1,007,015	3.5	1,443,490	4.7
買入金銭債権	230,518	0.8	283,252	0.9
有価証券	23,614,509	82.0	24,902,898	81.5
公社債	12,961,892	45.0	13,043,393	42.7
株式	1,700,608	5.9	1,933,967	6.3
外国証券	8,809,343	30.6	9,864,763	32.3
公社債	7,839,217	27.2	8,800,982	28.8
株式等	970,125	3.4	1,063,780	3.5
その他の証券	142,666	0.5	60,773	0.2
貸付金	2,972,689	10.3	2,781,305	9.1
保険約款貸付	303,290	1.1	294,742	1.0
一般貸付	2,669,398	9.3	2,486,563	8.1
不動産	578,811	2.0	571,641	1.9
うち投資用	401,966	1.4	388,745	1.3
繰延税金資産	124,609	0.4	154,714	0.5
その他	277,239	1.0	425,958	1.4
貸倒引当金	△1,132	△0.0	△921	△0.0
一般勘定計	28,804,261	100.0	30,562,340	100.0
うち外貨建資産	7,367,770	25.6	9,252,661	30.3

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

b. 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	平成28年度	平成29年度
	金額	金額
現預金・コールローン	558,154	436,474
買入金銭債権	24,216	52,733
有価証券	1,550,550	1,288,388
公社債	△20,932	81,501
株式	262,110	233,359
外国証券	1,209,055	1,055,420
公社債	1,161,506	961,764
株式等	47,549	93,655
その他の証券	100,316	△81,892
貸付金	776,213	△191,383
保険約款貸付	△11,363	△8,548
一般貸付	787,576	△182,834
不動産	△35,557	△7,169
うち投資用	△27,169	△13,220
繰延税金資産	49,287	30,104
その他	△73,779	148,718
貸倒引当金	370	211
一般勘定計	2,849,455	1,758,078
うち外貨建資産	1,641,964	1,884,891

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

② 資産別運用利回り(一般勘定)

(単位：%)

区 分	平成28年度	平成29年度
現預金・コールローン	1.75	△3.18
買入金銭債権	1.74	1.24
有価証券	2.10	2.02
うち公社債	2.35	2.10
うち株式	2.04	3.92
うち外国証券	1.73	1.58
公社債	1.48	1.50
株式等	3.78	2.21
貸付金	1.64	1.04
うち一般貸付	1.23	0.69
不動産	2.84	2.98
うち投資用	4.06	4.31
一般勘定計	1.98	1.80
うち海外投融資	1.72	1.51

(注) 1. 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

2. 当利回りの算出においては、デリバティブによる損益を分子に含めています。

3. 海外投融資とは、外貨建資産と円貨建資産の合計です。

③ 主要資産の平均残高(一般勘定)

(単位:百万円)

区 分	平成28年度	平成29年度
現預金・コールローン	520,110	879,218
買入金銭債権	200,969	253,515
有価証券	22,252,131	23,437,082
うち公社債	12,988,282	12,981,196
うち株式	894,218	923,070
うち外国証券	8,299,759	9,438,824
公社債	7,390,901	8,441,886
株式等	908,857	996,937
貸付金	2,323,316	3,055,234
うち一般貸付	2,010,165	2,752,780
不動産	616,074	580,194
うち投資用	431,673	401,404
一般勘定計	26,557,749	29,081,309
うち海外投融资	8,781,305	10,477,811

④ 商品有価証券明細表(一般勘定) 商品有価証券は、取り扱っていません。

⑤ 商品有価証券売買高(一般勘定) 商品有価証券は、取り扱っていません。

⑥ 有価証券明細表(一般勘定)

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
国債	9,903,340	41.9	9,862,813	39.6
地方債	104,870	0.4	114,815	0.5
社債	2,953,682	12.5	3,065,764	12.3
うち公社・公団債	1,767,880	7.5	1,860,806	7.5
うち外貨建	348,744	1.5	470,359	1.9
株式	1,700,608	7.2	1,933,967	7.8
外国証券	8,809,343	37.3	9,864,763	39.6
公社債	7,839,217	33.2	8,800,982	35.3
うち外貨建	6,181,041	26.2	7,193,755	28.9
株式等	970,125	4.1	1,063,780	4.3
うち外貨建	649,857	2.8	760,731	3.1
その他の証券	142,666	0.6	60,773	0.2
合 計	23,614,509	100.0	24,902,898	100.0
うち外貨建	7,179,643	30.4	8,424,846	33.8

⑦ 有価証券残存期間別残高(一般勘定)

(平成28年度末)

(単位:百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
有価証券	635,300	1,063,020	1,263,507	1,351,573	3,804,468	12,428,073	3,068,565	23,614,509
国債	61,605	147,363	338,358	294,967	928,252	8,132,793	—	9,903,340
地方債	907	5,033	—	2,760	6,029	90,138	—	104,870
社債	141,269	152,939	133,890	219,351	551,635	1,497,262	257,332	2,953,682
株式							1,700,608	1,700,608
外国証券	431,518	757,683	791,132	834,494	2,318,400	2,707,878	968,234	8,809,343
公社債	431,498	755,860	791,132	834,494	2,318,352	2,707,878	—	7,839,217
株式等	19	1,823	—	—	47	—	968,234	970,125
その他の証券	—	—	125	—	151	—	142,389	142,666
買入金銭債権	38,989	—	—	—	—	157,821	—	196,810
譲渡性預金	609,980	—	—	—	—	—	—	609,980
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,284,271	1,063,020	1,263,507	1,351,573	3,804,468	12,585,894	3,068,565	24,421,301

(平成29年度末)

(単位:百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
有価証券	571,195	1,153,941	1,238,355	1,475,808	4,024,827	13,070,536	3,368,234	24,902,898
国債	73,552	209,487	413,259	201,868	1,232,610	7,732,035	—	9,862,813
地方債	999	4,018	—	8,800	—	100,996	—	114,815
社債	95,756	101,971	163,269	280,749	562,395	1,545,798	315,824	3,065,764
株式							1,933,967	1,933,967
外国証券	400,886	838,464	661,546	984,390	2,229,620	3,691,705	1,058,149	9,864,763
公社債	400,868	835,276	661,546	984,390	2,229,102	3,689,798	—	8,800,982
株式等	18	3,187	—	—	518	1,906	1,058,149	1,063,780
その他の証券	—	—	279	—	200	—	60,293	60,773
買入金銭債権	48,986	—	—	—	—	160,506	—	209,492
譲渡性預金	441,084	—	—	—	—	—	—	441,084
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,061,266	1,153,941	1,238,355	1,475,808	4,024,827	13,231,042	3,368,234	25,553,476

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

⑧ 地域別地方債保有内訳(一般勘定)

(単位:百万円)

区分	平成28年度末	平成29年度末
北海道	—	—
東北	—	—
関東	53,422	58,621
中部	22,822	25,485
近畿	14,822	14,746
中国	117	116
四国	—	—
九州	13,685	15,846
合計	104,870	114,815

⑨ 保有公社債の期末残高利回り(一般勘定)

(単位:%)

区分	平成28年度末	平成29年度末
公社債	1.80	1.77
外国公社債	3.20	3.05

10 業種別株式保有明細表(一般勘定)

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末		
	金額	占率	金額	占率	
水産・農林業	302	0.0	308	0.0	
鉱業	79	0.0	92	0.0	
建設業	62,234	3.7	72,850	3.8	
製 造 業	食料品	67,945	4.0	75,310	3.9
	繊維製品	9,311	0.5	11,749	0.6
	パルプ・紙	6,155	0.4	8,191	0.4
	化学	182,944	10.8	218,401	11.3
	医薬品	142,575	8.4	145,839	7.5
	石油・石炭製品	6,585	0.4	7,701	0.4
	ゴム製品	7,033	0.4	7,122	0.4
	ガラス・土石製品	22,145	1.3	25,171	1.3
	鉄鋼	25,425	1.5	23,762	1.2
	非鉄金属	44,924	2.6	46,562	2.4
	金属製品	10,221	0.6	11,161	0.6
	機械	126,281	7.4	141,436	7.3
	電気機器	205,226	12.1	249,618	12.9
	輸送用機器	50,511	3.0	58,865	3.0
精密機器	8,558	0.5	12,785	0.7	
その他製品	39,815	2.3	53,876	2.8	
電気・ガス業	31,689	1.9	31,505	1.6	
運 輸 ・ 情 報 通 信 業	陸運業	141,161	8.3	174,378	9.0
	海運業	4,066	0.2	3,439	0.2
	空運業	4,266	0.3	5,127	0.3
	倉庫・運輸関連業	8,385	0.5	8,905	0.5
	情報・通信業	14,197	0.8	19,328	1.0
商 業	卸売業	95,117	5.6	114,684	5.9
	小売業	26,204	1.5	32,031	1.7
金 融 ・ 保 険 業	銀行業	181,968	10.7	179,268	9.3
	証券・商品先物取引業	7,117	0.4	6,823	0.4
	保険業	105,388	6.2	109,985	5.7
	その他金融業	3,459	0.2	4,554	0.2
不動産業	18,326	1.1	25,639	1.3	
サービス業	40,978	2.4	47,485	2.5	
合 計	1,700,608	100.0	1,933,967	100.0	

(注)業種区分は、「証券コード協議会」の「業種別分類項目」に準拠しています。

① 有価証券等の時価情報(一般勘定)

a. 売買目的有価証券の評価損益

(単位:百万円)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含 まれた評価損益
売買目的有価証券	—	—	395	△5

(注)本表では、「運用目的の金銭の信託」を通じて保有している有価証券も対象となっていますが、平成28年度末、平成29年度末ともに残高はありません。

b. 有価証券の時価情報

● 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	平成28年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差益	
				差益	差損
満期保有目的の債券	1,942,014	2,303,448	361,434	361,434	—
責任準備金対応債券	11,088,673	13,056,296	1,967,623	2,023,431	△55,808
子会社・関連会社株式	33,173	35,754	2,580	2,580	—
その他有価証券	9,405,982	10,375,805	969,822	1,103,170	△133,348
公社債	1,484,122	1,562,503	78,381	83,050	△4,668
株式	784,201	1,584,632	800,430	808,738	△8,307
外国証券	6,209,300	6,281,051	71,751	190,963	△119,211
公社債	6,136,882	6,207,918	71,036	190,150	△119,114
株式等	72,417	73,132	714	812	△97
その他の証券	127,421	140,826	13,404	14,070	△665
買入金銭債権	190,936	196,810	5,874	6,349	△475
譲渡性預金	610,000	609,980	△19	—	△19
その他	—	—	—	—	—
合 計	22,469,844	25,771,305	3,301,461	3,490,618	△189,156
公社債	12,883,510	14,958,180	2,074,669	2,134,598	△59,928
株式	784,201	1,584,632	800,430	808,738	△8,307
外国証券	7,873,773	8,280,876	407,102	526,862	△119,760
公社債	7,768,181	8,171,988	403,806	523,468	△119,662
株式等	105,591	108,887	3,295	3,393	△97
その他の証券	127,421	140,826	13,404	14,070	△665
買入金銭債権	190,936	196,810	5,874	6,349	△475
譲渡性預金	610,000	609,980	△19	—	△19
その他	—	—	—	—	—

(単位:百万円)

区 分	平成29年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差益	
				差益	差損
満期保有目的の債券	1,888,273	2,202,331	314,058	314,058	△0
責任準備金対応債券	11,206,795	13,156,647	1,949,852	1,995,109	△45,256
子会社・関連会社株式	33,173	53,967	20,793	20,793	—
その他有価証券	10,436,630	11,493,745	1,057,115	1,228,009	△170,894
公社債	1,649,259	1,714,504	65,245	82,711	△17,466
株式	838,599	1,812,663	974,063	986,723	△12,659
外国証券	7,260,364	7,257,270	△3,094	137,507	△140,601
公社債	7,039,984	7,034,408	△5,576	134,670	△140,246
株式等	220,380	222,862	2,482	2,837	△355
その他の証券	44,983	58,729	13,746	13,806	△60
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—
合 計	23,564,872	26,906,692	3,341,819	3,557,971	△216,152
公社債	12,978,148	15,023,825	2,045,676	2,103,337	△57,660
株式	838,599	1,812,663	974,063	986,723	△12,659
外国証券	9,059,717	9,360,895	301,178	446,843	△145,665
公社債	8,806,163	9,084,066	277,902	423,212	△145,309
株式等	253,554	276,829	23,275	23,631	△355
その他の証券	44,983	58,729	13,746	13,806	△60
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—

(注)本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成28年度末	平成29年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	604,907	612,315
その他有価証券	369,119	309,293
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	15,701	13,620
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	351,558	293,558
非上場外国債券	—	—
その他	1,859	2,114
合 計	974,026	921,609

責任準備金対応債券について

・当社では、金利変動に対する資産・負債の時価変動を適切に管理する観点から、「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第21号)に基づき、以下の保険契約群(小区分)を特定したうえで、これらに対応する債券の保有目的区分を「責任準備金対応債券」としています。

- ライフワン(最低保証利率付3年ごと利率変動型積立保険等の主契約)
 - 一時払養老保険(ただし、一部を除く)
 - 利率変動型終身保険(一時払)(予定利率変動型5年ごと利差配当付増終身保険(一時払い)等)
 - 個人保険及び個人年金保険契約(ただし、一部保険種類を除く)
 - 指定通貨建終身保険(一時払い)の米ドル建の契約
 - 指定通貨建終身保険(一時払い)の豪ドル建の契約
 - 確定拠出年金保険及び新単位口利率設定特約
 - 確定給付企業年金保険(02)・新企業年金保険(単位口利率設定特約及び新単位口別利率設定特約を除く)等契約の今後30年以内に発生する見込みのキャッシュ・フローに対応する責任準備金
 - 拠出型企業年金保険契約の今後30年以内に発生する見込みのキャッシュ・フローに対応する責任準備金
- ・これらの小区分において、保険契約群の責任準備金と、対応する保有債券のデュレーション(金利変動に対する時価変動の程度)が、一定幅の中で一致していることを定期的に検証しています。

c. 金銭の信託の時価情報

●運用目的の金銭の信託

平成28年度末、平成29年度末ともに残高がないため、記載していません。

●運用目的以外の金銭の信託

平成28年度末、平成29年度末ともに残高がないため、記載していません。

(ご参考)

金融商品に係る会計基準における「時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券」についても一定の前提をおいて算定した価額を含めた場合の時価情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成28年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差	
				差益	差損
満期保有目的の債券	1,942,014	2,303,448	361,434	361,434	—
責任準備金対応債券	11,088,673	13,056,296	1,967,623	2,023,431	△55,808
子会社・関連会社株式	638,081	589,427	△48,653	2,580	△51,234
その他有価証券	9,775,102	10,752,532	977,430	1,110,778	△133,348
公社債	1,484,122	1,562,503	78,381	83,050	△4,668
株式	799,902	1,600,333	800,430	808,738	△8,307
外国証券	6,560,879	6,640,237	79,358	198,570	△119,212
公社債	6,136,882	6,207,918	71,036	190,150	△119,114
株式等	423,996	432,318	8,322	8,420	△98
その他の証券	129,261	142,666	13,405	14,070	△665
買入金銭債権	190,936	196,810	5,874	6,349	△475
譲渡性預金	610,000	609,980	△19	—	△19
その他	—	—	—	—	—
合 計	23,443,871	26,701,705	3,257,834	3,498,226	△240,392
公社債	12,883,510	14,958,180	2,074,669	2,134,598	△59,928
株式	900,177	1,700,608	800,430	808,738	△8,307
外国証券	8,729,984	9,093,459	363,474	534,470	△170,995
公社債	7,768,181	8,171,988	403,806	523,468	△119,662
株式等	961,803	921,471	△40,331	11,001	△51,332
その他の証券	129,261	142,666	13,405	14,070	△665
買入金銭債権	190,936	196,810	5,874	6,349	△475
譲渡性預金	610,000	609,980	△19	—	△19
その他	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

区 分	平成29年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差	
				差益	差損
満期保有目的の債券	1,888,273	2,202,331	314,058	314,058	△0
責任準備金対応債券	11,206,795	13,156,647	1,949,852	1,995,109	△45,256
子会社・関連会社株式	645,489	590,344	△55,144	20,793	△75,938
その他有価証券	10,745,924	11,812,522	1,066,598	1,237,549	△170,951
公社債	1,649,259	1,714,504	65,245	82,711	△17,466
株式	852,220	1,826,284	974,063	986,723	△12,659
外国証券	7,553,943	7,560,382	6,439	147,042	△140,603
公社債	7,039,984	7,034,408	△5,576	134,670	△140,246
株式等	513,958	525,974	12,015	12,372	△356
その他の証券	47,077	60,773	13,695	13,811	△115
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—
合 計	24,486,482	27,761,846	3,275,363	3,567,511	△292,147
公社債	12,978,148	15,023,825	2,045,676	2,103,337	△57,660
株式	959,903	1,933,967	974,063	986,723	△12,659
外国証券	9,857,928	10,092,702	234,773	456,378	△221,604
公社債	8,806,163	9,084,066	277,902	423,212	△145,309
株式等	1,051,765	1,008,636	△43,129	33,165	△76,295
その他の証券	47,077	60,773	13,695	13,811	△115
買入金銭債権	202,323	209,492	7,169	7,261	△92
譲渡性預金	441,100	441,084	△15	—	△15
その他	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 有価証券のうち時価のあるものに係る時価情報の差損益と本表の差損益との差額は、平成28年度末が△43,627百万円、平成29年度末が△66,455百万円となっています。

不動産(土地・借地権)の差損益

(単位：百万円)

区 分	平成28年度末	平成29年度末
不動産の差損益	59,120	107,877

(注) 土地の時価については、不動産鑑定士による鑑定評価等による評価額、または公示価格に基づき合理的な調整を行って算定する評価額を使用しております。

d. デリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用・非適用の合算値)

●差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

(単位：百万円)

区 分	平成28年度末					平成29年度末				
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他
ヘッジ会計適用分	268	△254,479	—	—	—	701	169,860	—	—	—
ヘッジ会計非適用分	△630	△21,547	1,741	—	—	—	9,956	—	—	—
合 計	△361	△276,026	1,741	—	—	701	179,816	—	—	—

(注) ヘッジ会計適用分のうち時価ヘッジ適用分、及びヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。
なお時価ヘッジ適用分の差損益は、平成28年度末通貨関連 △255,228百万円、平成29年度末通貨関連 180,238百万円となっています。

●金利関連

(単位：百万円)

区 分	種 類	平成28年度末			平成29年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	金利スワップ 固定金利受取/変動金利支払 固定金利支払/変動金利受取	48,828	32,520	268	268	32,520	29,236	40	40
	金利スワップション 買建 固定金利支払/変動金利受取	170,000 (635)	—	4	△630	(—)	—	—	—
合 計					△361				701

(注) 1. ()内には、オプション料を記載しています。
2. 差損益欄には、金利スワップ取引については時価を記載し、金利スワップション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

(ご参考)金利スワップ契約の内容

(単位：百万円、%)

区 分	平成29年度末						
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	合 計
受取固定・支払変動スワップの想定元本額	3,283	14,091	4,110	11,035	—	—	32,520
平均受取固定金利	0.56	0.64	1.43	1.20	—	—	0.92
平均支払変動金利	0.22	0.20	1.43	1.16	—	—	0.68
支払固定・受取変動スワップの想定元本額	—	47,808	—	—	—	—	47,808
平均支払固定金利	—	2.68	—	—	—	—	2.68
平均受取変動金利	—	2.35	—	—	—	—	2.35

●通貨関連

(単位：百万円)

区 分	種 類	平成28年度末			平成29年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約 売建	5,685,242	321,272	△271,315	△271,315	7,090,003	187,916	194,100	194,100
	(米ドル)	3,274,262	233,885	△142,981	△142,981	3,773,737	127,932	143,034	143,034
	(ユーロ)	1,172,994	—	△5,818	△5,818	1,822,000	—	9,955	9,955
	(豪ドル)	1,055,090	87,387	△115,829	△115,829	1,195,503	59,984	35,417	35,417
	買建	527,011	—	△5,240	△5,240	273,894	—	△3,905	△3,905
	(米ドル)	526,915	—	△5,241	△5,241	170,630	—	△3,616	△3,616
	(ユーロ)	—	—	—	—	52,083	—	△321	△321
	(豪ドル)	96	—	0	0	51,180	—	32	32
	通貨オプション 買建 フット	54,750	—	—	—	—	—	—	—
	(397)	—	—	177	△219	(—)	—	—	—
	(米ドル)	54,750	—	—	—	—	—	—	—
	(397)	—	—	177	△219	(—)	—	—	—
	通貨スワップ	26,780	26,780	△574	△574	26,780	26,780	615	615
(米ドル)	24,326	24,326	△614	△614	24,326	24,326	808	808	
(ユーロ)	2,454	2,454	40	40	2,454	2,454	△193	△193	
合 計				△277,350				190,810	

(注) 1. ()内には、オプション料を記載しています。
2. 外貨建金銭債権債務等が為替予約又は通貨スワップが付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。なお、開示の対象より除いている為替予約は、平成28年度末が豪ドル売建の契約額 55,505百万円、時価 △20,033百万円、差損益 △20,033百万円、米ドル売建の契約額 2,996百万円、時価 △929百万円、差損益 △929百万円、平成29年度末が豪ドル売建の契約額 53,778百万円、時価 △18,082百万円、差損益 △18,082百万円です。開示の対象より除いている通貨スワップは、平成28年度末が米ドルの契約額 226,557百万円、時価 22,286百万円、差損益 22,286百万円、平成29年度末が米ドルの契約額 386,121百万円、時価 7,089百万円、差損益 7,089百万円です。
3. 差損益欄には、為替予約及びスワップ取引については時価を記載し、オプション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

●株式関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成28年度末			平成29年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指数先物 売建	98,753	—	1,741	1,741	—	—	—	—
合計					1,741				—

(注) 差損益欄には、時価を記載しています。

●債券関連

平成28年度末、平成29年度末ともに残高がないため、記載していません。

12 貸付金明細表(一般勘定)

(単位：百万円)

区分	平成28年度末	平成29年度末
保険約款貸付	303,290	294,742
契約者貸付	276,962	269,473
保険料振替貸付	26,328	25,268
一般貸付	2,669,398	2,486,563
(うち非居住者貸付)	(17,000)	(57,808)
企業貸付	1,771,558	1,698,260
(うち国内企業向け)	(1,769,558)	(1,650,452)
国・国際機関・政府関係機関貸付	883,368	779,420
公共団体・公企業貸付	10,161	5,092
住宅ローン	4,259	3,788
消費者ローン	50	1
その他	—	—
合計	2,972,689	2,781,305

13 貸付金残存期間別残高(一般勘定)

(平成28年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
変動金利	26,089	17,905	4,635	45,635	10,566	45,263	48,000	198,096
固定金利	1,167,484	398,788	236,098	197,393	288,025	183,511	—	2,471,301
一般貸付計	1,193,573	416,694	240,733	243,029	298,592	228,774	48,000	2,669,398

(平成29年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
変動金利	44,894	62,074	370	26,435	14,423	56,636	40,000	244,834
固定金利	971,412	327,292	230,414	181,810	291,888	238,910	—	2,241,728
一般貸付計	1,016,306	389,366	230,784	208,246	306,311	295,547	40,000	2,486,563

14 国内企業向け貸付金企業規模別内訳(一般勘定)

(単位: 件、百万円、%)

区分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
大企業	貸付先数	184	178	80.9
	金額	1,631,211	1,490,559	90.3
中堅企業	貸付先数	2	2	0.9
	金額	3,023	2,821	0.2
中小企業	貸付先数	41	40	18.2
	金額	135,324	157,072	9.5
国内企業向け貸付計	貸付先数	227	220	100.0
	金額	1,769,558	1,650,452	100.0

(注) 1. 規模の区分は業種により以下のとおり定義しています。

業種	①右の②、③、④を除く全業種		②小売業、飲食業		③サービス業		④卸売業	
大企業	常用する従業員	資本金10億円以上	常用する従業員	資本金10億円以上	常用する従業員	資本金10億円以上	常用する従業員	資本金10億円以上
中堅企業	300人超かつ	資本金3億円超10億円未満	50人超かつ	資本金5千万円超10億円未満	100人超かつ	資本金5千万円超10億円未満	100人超かつ	資本金1億円超10億円未満
中小企業	資本金3億円以下または常用する従業員300人以下		資本金5千万円以下または常用する従業員50人以下		資本金5千万円以下または常用する従業員100人以下		資本金1億円以下または常用する従業員100人以下	

- 貸付先数とは、各貸付先を名寄せした結果の債務者数をいい、貸付件数ではありません。
- 従業員数及び資本金額は、資料作成時点で当社が把握しているものによります。
- サービス業は、「物品賃貸業」、「学術研究・専門・技術サービス業」、「宿泊業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、及び「その他のサービス」で構成されます。
- 規模の区分は、日本銀行の「貸出先別貸出金(業種別、設備資金新規貸出)」の規模区分に準拠しています。

15 貸付金業種別内訳(一般勘定)

(単位: 百万円、%)

区分	平成28年度末		平成29年度末		
	金額	占率	金額	占率	
国内向け	食料	292,492	11.0	249,993	10.1
	繊維	11,369	0.4	13,121	0.5
	木材・木製品	4,561	0.2	3,130	0.1
	パルプ・紙	800	0.0	300	0.0
	印刷	11,950	0.4	12,070	0.5
	化学	—	—	—	—
	石油・石炭	47,436	1.8	39,234	1.6
	窯業・土石	36,680	1.4	36,430	1.5
	鉄鋼	9,836	0.4	10,390	0.4
	非鉄金属	54,900	2.1	48,600	2.0
	金属製品	6,020	0.2	6,150	0.2
	はん用・生産用・業務用機械	—	—	—	—
	電気機械	18,620	0.7	19,532	0.8
	輸送用機械	53,918	2.0	36,766	1.5
	その他の製造業	32,722	1.2	20,710	0.8
	その他の製造業	3,680	0.1	3,560	0.1
	農業、林業	—	—	—	—
	漁業	—	—	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
	建設業	1,858	0.1	1,606	0.1
電気・ガス・熱供給・水道業	262,646	9.8	235,998	9.5	
情報通信業	30,600	1.1	29,600	1.2	
運輸業、郵便業	137,888	5.2	144,435	5.8	
卸売業	470,160	17.6	405,750	16.3	
小売業	6,197	0.2	5,061	0.2	
金融業、保険業	333,950	12.5	328,616	13.2	
不動産業	127,926	4.8	129,676	5.2	
物品賃貸業	95,129	3.6	109,609	4.4	
学術研究・専門・技術サービス業	—	—	—	—	
宿泊業	1,000	0.0	1,000	0.0	
飲食業	—	—	—	—	
生活関連サービス業、娯楽業	—	—	—	—	
教育、学習支援業	—	—	—	—	
医療・福祉	—	—	—	—	
その他のサービス	11,119	0.4	10,176	0.4	
地方公共団体	138	0.0	92	0.0	
個人(住宅・消費・納税資金等)	4,309	0.2	3,790	0.2	
合計	2,652,398	99.4	2,428,755	97.7	
海外向け	政府等	15,000	0.6	10,000	0.4
	金融機関	2,000	0.1	47,808	1.9
	商工業等	—	—	—	—
合計	17,000	0.6	57,808	2.3	
一般貸付計	2,669,398	100.0	2,486,563	100.0	

- (注) 1. 国内向けの区分は、日本銀行の「貸出先別貸出金(業種別、設備資金新規貸出)」の業種分類に準拠しています。
 2. 「国内向け貸付の合計」ならびに「一般貸付計」には日本政府向け貸出を含みます。(平成28年度末 8,769億円、平成29年度末 7,733億円)

16 貸付金使途別内訳(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
設備資金	311,686	11.7	265,979	10.7
運転資金	1,125,186	42.2	1,056,863	42.5

(注) 占率には、一般貸付金残高に対する割合を記載しています。

17 貸付金地域別内訳(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
北海道	12,197	0.5	12,377	0.5
東北	29,000	1.1	22,495	0.9
関東	2,190,963	82.7	2,037,240	84.0
中部	99,870	3.8	93,501	3.9
近畿	229,426	8.7	181,935	7.5
中国	35,154	1.3	28,229	1.2
四国	10,100	0.4	10,100	0.4
九州	41,375	1.6	39,085	1.6
合計	2,648,088	100.0	2,424,964	100.0

(注) 1. 個人ローン、非居住者貸付、保険約款貸付等を含みません。
2. 地域区分は、資料作成時点で当社が把握している貸付先の本社所在地によります。

18 貸付金担保別内訳(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
担保貸付	550	0.0	12,724	0.5
有価証券担保貸付	460	0.0	350	0.0
不動産・動産・財団担保貸付	90	0.0	12,374	0.5
指名債権担保貸付	—	—	—	—
保証貸付	35,747	1.3	25,953	1.0
信用貸付	2,628,790	98.5	2,444,095	98.3
その他	4,309	0.2	3,790	0.2
一般貸付計	2,669,398	100.0	2,486,563	100.0
うち劣後特約付貸付	185,000	6.9	173,000	7.0

19 リスク管理債権の状況

(単位:百万円,%)

区分	平成28年度末	平成29年度末
破綻先債権額	—	—
延滞債権額	877	909
3カ月以上延滞債権額	0	—
貸付条件緩和債権額	—	—
合計	877	909
(貸付残高に対する比率)	(0.03)	(0.03)

(注) 1. 破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証等による回収が可能と認められる金額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しています。その金額は、平成28年度末が延滞債権額24百万円、平成29年度末が延滞債権額22百万円です。
2. 破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未取利息を計上しなかった貸付金(未取利息不計上貸付金)のうち、会社更生法、民事再生法、破産法、会社法等による手続き申立てにより法的倒産となった債務者、又は手形交換所の取引停止処分を受けた債務者、あるいは、海外の法律により上記に準ずる法律上の手続き申立てがあった債務者に対する貸付金です。
3. 延滞債権とは、未取利息不計上貸付金であって、上記破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸付金です。
4. 3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延しているもので、破綻先債権、延滞債権に該当しない貸付金です。
5. 貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行ったもので、破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しない貸付金です。

20 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円、%)

区 分	平成28年度末	平成29年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—
危険債権	905	938
要管理債権	0	—
小計 (対合計比)	905 (0.02)	938 (0.02)
正常債権	4,670,964	5,766,956
合計	4,671,870	5,767,895

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 要管理債権とは、3か月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3か月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸付金(注1及び2に掲げる債権を除く。)、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1及び2に掲げる債権並びに3か月以上延滞貸付金を除く。)です。
4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

(ご参考)貸付金に関わる自己査定状況

(単位：億円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
非分類	29,593	99.5	27,740	99.7
Ⅱ分類	133	0.5	72	0.3
Ⅲ分類	0	0.0	0	0.0
Ⅳ分類	—	—	—	—
貸付金残高	29,726	100.0	27,813	100.0

- (注) 1. Ⅲ分類債権に対して、個別貸倒引当金を、平成28年度末は0億円、平成29年度末は0億円計上しています。
2. 破綻先及び実質破綻先に対する債権については、債権額から担保の評価額及び保証等による回収可能見込額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は、平成28年度末が0億円、平成29年度末が0億円です。

(ご参考)貸倒引当金の状況

(単位：億円)

区 分	平成28年度末	平成29年度末
個別貸倒引当金残高	2	2
一般貸倒引当金残高	9	7
貸倒引当金合計	11	9

21 元本補填契約のある信託に係る貸出金の状況

該当ありません。

22 保険金等の支払能力の充実の状況(ソルベンシー・マージン比率)

(単位：百万円)

項目	平成28年度末	平成29年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	3,709,163	4,120,339
基金等	958,826	904,581
価格変動準備金	502,347	656,947
危険準備金	333,700	349,400
一般貸倒引当金	910	717
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(7/77の場合100%)	879,345	960,726
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	13,363	48,810
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	675,390	709,854
負債性資本調達手段等	354,480	499,924
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△80,000	△80,000
その他	70,799	69,376
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_6)^2+(R_2+R_3+R_7)^2+R_4}$ (B)	897,110	943,293
保険リスク相当額 R_1	73,512	71,018
第三分野保険の保険リスク相当額 R_6	55,217	57,901
予定利率リスク相当額 R_2	204,386	200,480
最低保証リスク相当額 R_7^{**}	17,494	3,474
資産運用リスク相当額 R_3	645,804	709,438
経営管理リスク相当額 R_4	19,928	20,846
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	826.9%	873.6%

※最低保証リスク相当額は、平成8年大蔵省告示第50号別表6の2に定める標準的方式により算出しています。
 (注) 上記は、保険業法第130条、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

◆ソルベンシー・マージン比率について

「ソルベンシー・マージン」とは、大地震や株の大暴落といった通常予測できる範囲を超える諸リスクに対応するための「支払余力」を意味していません。
 ソルベンシー・マージン比率とは、通常予測できる範囲を超える諸リスクを数値化した「リスクの合計額」に対する「ソルベンシー・マージン総額」の比率であり、通常の予測を超えて発生するリスクをどれだけカバーできるかを表す指標のひとつです。
 この数値が200%を下回った場合、監督当局によって「早期是正措置」が発動されます。

ソルベンシー・マージン比率は経営の健全性を示す一つの指標ですが、この比率だけをとらえて経営の健全性の全てを判断することは適当ではありません。資産運用の状況や業績の推移等の経営情報などから総合的に判断する必要があります。

◆ソルベンシー・マージン総額について

「ソルベンシー・マージン総額」を構成する各項目の内容および法令上の根拠は以下のとおりです。

項目	内容	法令上の根拠
基金等	<p>貸借対照表上の純資産の部合計から、評価・換算差額等合計を控除したうえ、剰余金の処分として支出する金額(社員配当準備金に積み立てる金額を含みます。)を控除した額を記載しています。なお、規則第86条第1項第1号に定める事項のうち、「保険業法(以下、「法」)第113条前段の規定により貸借対照表の資産の部に計上した金額及び繰延資産として貸借対照表の資産の部に計上した金額」については、当社には該当事項はありません。</p> $\boxed{\text{基金等}} = \boxed{\text{貸借対照表上の純資産の部合計}} - \boxed{\text{評価・換算差額等合計}} - \boxed{\text{剰余金の処分として支出する金額}} - \boxed{\text{その他(繰延資産等)}}$	<p>保険業法施行規則(以下、「規則」)第86条第1項第1号</p>
基金	<p>「基金等」に含まれる項目のうち、基金については、以下のとおりです。 ・基金は、株式会社の資本金に該当する相互会社の担保財産として保険業法で定められているもので、貸借対照表上の純資産の部に計上されています。 ・基金は契約で定められた期日に償却を行います。元金の返済に加えて、別途、同額の基金償却積立金を内部留保として積み立てることが必要とされています。基金の償却期日については、187ページの「基金償却スケジュール」をご覧ください。</p>	
価格変動準備金	<p>貸借対照表上の価格変動準備金の額を記載しています。 価格変動準備金は、法第115条第1項により、保険会社に対し、所有する株式等の価格変動により生じ得る損失に備えて積み立てることが求められているものです。 株式等の売買等による損失の額が株式等の売買等による利益の額を超える場合においてその差額をてん補に充てる場合、その他金融庁長官の認可を受けたとき、取崩することができます。</p>	<p>規則第86条第1項第2号</p>

危険準備金	貸借対照表上の責任準備金の一部である危険準備金の額を記載しています。 危険準備金は、規則第69条第1項第3号により、保険会社に対し、保険契約に基づく将来の債務を確実に履行するため将来発生が見込まれる危険(保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスク)に備えて積み立てることが求められているものです。死差損・利差損がある場合、最低保証に係る収支残が負の場合において、当該損失のてん補に充てるときに取崩すことができます。 なお、業務又は財産の状況等に照らし、やむを得ない事情がある場合には、これらによらない取崩しを行うことができます。 ※保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスクの意味については、「リスクの合計額について」をご覧ください。	規則第86条 第1項第3号																		
一般貸倒引当金	貸借対照表上の貸倒引当金の一部である一般貸倒引当金の額を記載しています。	規則第86条 第1項第4号																		
その他有価証券 評価差額金・ 繰延ヘッジ損益 (税効果控除前)	以下の各金額であって税効果適用前のものの合計額に、当該金額がプラスの場合は90%を、マイナスの場合は100%を乗じて得た額を記載しています。 ア. 貸借対照表上のその他有価証券評価差額金の額 イ. 貸借対照表上の繰延ヘッジ損益の額(ヘッジ対象に係る評価差額が貸借対照表のその他有価証券評価差額金に計上されている場合におけるものに限る。)	規則第86条 第1項第5号																		
土地の含み損益	土地の時価と帳簿価額の差額に、当該金額がプラスの場合は85%を、マイナスの場合は100%を乗じて得た額を記載しています。土地の時価と帳簿価額の差額には、貸借対照表上の土地再評価差額金および貸借対照表上の再評価に係る繰延税金負債の合計額が含まれます。	規則第86条 第1項第6号																		
全期チルメル式 責任準備金 相当額超過額	貸借対照表上の責任準備金の一部である以下のアの額からイ及びウの合計額を控除した残額を記載しています。 ア. 保険料積立金及び未経過保険料の合計額 イ. 以下の①と②のいずれか大きい額 ① 保険契約の締結時の費用を保険料払込期間にわたり償却する方法その他これに類似する方法により計算した保険料積立金の額に未経過保険料を加えた額 ② 保有する保険契約が保険事故未発生のまま消滅したとして計算した支払相当額 ウ. 規則第69条第5項の規定に基づき追加して積み立てた保険料積立金の額を積み立てていないものとして、法第121条第1項に基づき保険計理人が行う確認その他の検証により、追加して積み立てておくことが必要である保険料積立金の額	規則第86条 第1項第7号 及び平成8年 大蔵省告示 (以下、「告示」)第50 号第1条第4項第1号																		
負債性資本 調達手段等	貸借対照表上の社債及び借入金の一部である以下の負債性資本調達手段等の額を記載しています。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: right;">(単位:百万円)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>平成28年度末</th> <th>平成29年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負債性資本調達手段等の額(①+②+③)</td> <td style="text-align: center;">354,480</td> <td style="text-align: center;">499,924</td> </tr> <tr> <td>告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>告示第50号第1条第4項第5号ロに掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)</td> <td style="text-align: center;">354,480</td> <td style="text-align: center;">499,924</td> </tr> <tr> <td>不算入額(③)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	(単位:百万円)			項目	平成28年度末	平成29年度末	負債性資本調達手段等の額(①+②+③)	354,480	499,924	告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)	—	—	告示第50号第1条第4項第5号ロに掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)	354,480	499,924	不算入額(③)	—	—	規則第86条 第1項第7号及び告示 第50号第1条第4項第5号
(単位:百万円)																				
項目	平成28年度末	平成29年度末																		
負債性資本調達手段等の額(①+②+③)	354,480	499,924																		
告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)	—	—																		
告示第50号第1条第4項第5号ロに掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)	354,480	499,924																		
不算入額(③)	—	—																		
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	全期チルメル式責任準備金相当額超過額と負債性資本調達手段等(告示第50号第1条第6項に規定される特定負債性資本調達手段を除く)の合計額のうち、中核的支払余力(基金等、価格変動準備金、危険準備金、配当準備金未割当部分、マイナスのその他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ(税効果控除前)の合計額から繰延税金資産の不算入額及び告示第50号第1条第5項に規定される再保険契約に係る未償却出再手数料残高の額を控除した額)を超過する額を記載しています。	規則第86条 第1項第7号及び告示 第50号第1条第5項																		
控除項目	以下の各金額の合計額を記載しています。 ア. 当社が保有している他の保険会社や金融機関等の資本調達手段等のうち、保険会社向けの総合的な監督指針に規定されている「意図的保有」に該当する額 イ. 告示第50号第1条の3に規定される再保険契約に係る未償却出再手数料残高の額	規則第86条 第1項第7号及び告示 第50号第1条の2、3																		
その他	以下の各金額の合計額を記載しています。 ア. 繰延税金資産の不算入額。繰延税金資産(価格変動準備金、保険契約準備金、評価・換算差額等に係る額を除く)のうち、告示第50号第1条第1項に規定される繰延税金資産算入基準額の20%を超過する額です。 イ. 配当準備金未割当部分。配当準備金未割当部分は、貸借対照表上の社員配当準備金(社員配当準備金繰入額から翌期配当所要額を控除した額を含む。)のうち、社員に対する剰余金の分配として割り当てた額を超える額です。 ウ. 税効果相当額。税効果相当額は、任意積立金の取崩しを行うこと等によりリスク対応財源として期待できるものとして計算した額です。	規則第86条 第1項及び告示 第50号第1条第1項、 第4項第2号、第3号、 第7項																		

◆リスクの合計額について

「リスクの合計額」を構成する各項目の内容および法令上の根拠は以下のとおりです。

項目	内容	法令上の根拠
保険リスク相当額	保険リスクに対応する額を記載しています。 保険リスクは、「実際の保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険」のうち、第三分野保険に係るもの以外のものです。 保険リスクは、普通死亡リスク、生存保障リスク、その他のリスクで構成されます。	規則第87条 第1号
第三分野保険の 保険リスク相当額	第三分野保険の保険リスクに対応する額を記載しています。 第三分野保険の保険リスクは、「実際の保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険」のうち、第三分野保険に係るものです。 第三分野保険の保険リスクは、ストレステストの対象とするリスク、災害死亡リスク、災害入院リスク、疾病入院リスク、その他のリスクで構成されます。	規則第87条 第1号の2
予定利率 リスク相当額	予定利率リスクに対応する額を記載しています。 予定利率リスクは、「責任準備金の算出の基礎となる予定利率を確保できなくなる危険」です。	規則第87条 第2号
最低保証 リスク相当額	最低保証リスクに対応する額を記載しています。 最低保証リスクは、「特別勘定を設けた保険契約であって、保険金等の額を最低保証するものについて、当該保険金等を支払うときにおける特別勘定に属する財産の価額が、当該保険契約が最低保証する保険金等の額を下回る危険であって、当該特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険」です。	規則第87条 第2号の2
資産運用 リスク相当額	資産運用リスクに対応する額を記載しています。 資産運用リスクは、「資産の運用等に関する危険であって、保有する有価証券その他の資産の通常の予測を超える価格の変動その他の理由により発生し得る危険」です。 資産運用リスクは、価格変動等リスク、信用リスク、子会社等リスク、デリバティブ取引リスク、信用スプレッドリスク、再保険リスク、再保険回収リスクで構成されます。	規則第87条 第3号
経営管理 リスク相当額	経営管理リスクに対応する額を記載しています。 経営管理リスクは、「業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険であって、保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスクおよび資産運用リスクに該当しないもの」です。	規則第87条 第4号

23 有形固定資産明細表

a. 有形固定資産の明細

(平成28年度)

(単位：百万円、%)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
土地	386,740	1,190	17,898 (280)	—	370,032	—	—
建物	226,738	10,968	16,717 (60)	13,112	207,876	387,011	65.0
リース資産	2,076	—	8	920	1,146	4,538	79.8
建設仮勘定	891	3,801	3,789	—	902	—	—
その他の有形固定資産	3,885	1,388	90	1,285	3,897	23,170	85.6
合計	620,330	17,348	38,504	15,319	583,856	414,720	—

(平成29年度)

(単位：百万円、%)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
土地	370,032	21,277	32,269 (3,924)	—	359,040	—	—
建物	207,876	11,664	5,653 (2,445)	12,899	200,987	390,225	66.0
リース資産	1,146	—	4	798	344	3,856	91.7
建設仮勘定	902	19,459	8,748	—	11,613	—	—
その他の有形固定資産	3,897	1,663	28	1,290	4,242	23,741	84.8
合計	583,856	54,065	46,704	14,988	576,228	417,823	—

(注) 1. 「当期減少額」欄の()内には、減損損失の計上額を記載しています。
 2. 平成29年度末の賃貸等不動産残高は、389,919百万円です。

b. 不動産残高及び賃貸用ビル保有数

(単位：百万円)

区分	平成28年度末	平成29年度末
不動産残高	578,811	571,641
営業用	176,845	182,896
賃貸用	401,966	388,745
賃貸用ビル保有数	103棟	97棟

24 その他の資産明細表

(平成28年度)

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
繰延資産	31,313	39	385	30,356	956
その他	7,767	3	148	5,175	2,591
合計	39,080	43	534	35,532	3,548

(平成29年度)

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
繰延資産	24,855	29	111	23,981	873
その他	7,579	5	194	5,177	2,402
合計	32,435	34	306	29,159	3,276

25 公共関係投融资の概況(一般勘定)

(単位:百万円)

区 分		平成28年度		平成29年度	
公共債	国債		—		—
	地方債		—		—
	公社・公団債		799		1,332
	小計		799		1,332
貸付	政府関係機関		878,368		1,761,792
	公共団体・公企業		—		—
	小計		878,368		1,761,792
合 計			879,167		1,763,124

(注)上記表の公共債・貸付欄にはそれぞれ各年度の国内向け新規引受額、新規貸出額を記入しています。

26 海外投融资の状況(一般勘定)

a. 資産別明細

●外貨建資産

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
公社債	6,529,786	68.3	7,664,115	67.0
株式等	649,857	6.8	760,731	6.6
現預金・その他	188,126	2.0	827,815	7.2
外貨建資産計	7,367,770	77.1	9,252,661	80.9

●円貨額が確定した外貨建資産

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
貸付金	127,077	1.3	141,197	1.2
公社債	56,324	0.6	53,338	0.5
現預金・その他	25,049	0.3	69,972	0.6
円貨額が確定した外貨建資産計	208,450	2.2	264,508	2.3

(注)「円貨額が確定した外貨建資産」は、為替予約等が付されていることにより決済時の円貨額が確定し、当該円貨額を資産の貸借対照表価額としているものです。

●円貨建資産

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
公社債	1,601,851	16.8	1,553,889	13.6
株式等	320,268	3.4	312,990	2.7
非居住者貸付	17,000	0.2	10,000	0.1
その他	39,752	0.4	49,312	0.4
円貨建資産計	1,978,872	20.7	1,926,192	16.8

●合計

(単位:百万円、%)

区 分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
海外投融资	9,555,093	100.0	11,443,362	100.0

b. 海外投融資の地域別構成 (平成28年度末)

(単位：百万円、%)

区分	外国証券		公社債		株式等		非居住者貸付	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率	金額	占率
北米	3,148,957	35.7	2,682,438	34.2	466,519	48.1	—	—
ヨーロッパ	2,162,077	24.5	2,160,206	27.6	1,871	0.2	12,000	70.6
オセアニア	363,939	4.1	363,939	4.6	—	—	—	—
アジア	115,598	1.3	2,144	0.0	113,453	11.7	—	—
中南米	2,524,203	28.7	2,135,921	27.2	388,281	40.0	—	—
中東	—	—	—	—	—	—	—	—
アフリカ	3,523	0.0	3,523	0.0	—	—	—	—
国際機関	491,044	5.6	491,044	6.3	—	—	5,000	29.4
合計	8,809,343	100.0	7,839,217	100.0	970,125	100.0	17,000	100.0

(平成29年度末)

(単位：百万円、%)

区分	外国証券		公社債		株式等		非居住者貸付	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率	金額	占率
北米	3,525,959	35.7	3,054,114	34.7	471,844	44.4	47,808	82.7
ヨーロッパ	2,763,472	28.0	2,759,766	31.4	3,706	0.3	5,000	8.6
オセアニア	420,619	4.3	420,619	4.8	—	—	—	—
アジア	117,521	1.2	2,140	0.0	115,380	10.8	—	—
中南米	2,630,390	26.7	2,157,541	24.5	472,849	44.4	—	—
中東	—	—	—	—	—	—	—	—
アフリカ	3,567	0.0	3,567	0.0	—	—	—	—
国際機関	403,232	4.1	403,232	4.6	—	—	5,000	8.6
合計	9,864,763	100.0	8,800,982	100.0	1,063,780	100.0	57,808	100.0

(注) 1. 本表は発行会社の国籍に基づき作成されています。

2. 中南米向け外国証券は、中南米に設立されたSPC(特別目的会社)が発行する債券もしくは優先出資証券、または海外投資信託等であり、発行会社の国籍に基づき中南米に分類されているものの、実質的には日本や北米・ヨーロッパ・アジア・オセアニア地域への投資です。

c. 外貨建資産の通貨別構成

(単位：百万円、%)

区分	平成28年度末		平成29年度末	
	金額	占率	金額	占率
米ドル	4,686,636	63.6	5,772,976	62.4
ユーロ	1,157,582	15.7	1,867,816	20.2
豪ドル	1,221,366	16.6	1,199,622	13.0
ニュージーランドドル	115,395	1.6	201,812	2.2
ポーランドズロチ	73,108	1.0	94,996	1.0
中国元	42,175	0.6	44,106	0.5
インドネシアルピア	38,300	0.5	38,116	0.4
ベトナムドン	33,180	0.5	33,190	0.4
その他	24	0.0	23	0.0
合計	7,367,770	100.0	9,252,661	100.0